

# 旧3小学校(茂尻小・豊里小・赤間小) 活用に関わる地域懇談会を開催します。

令和6年1月22日(月)18時～文京生活館(旧赤間小学校区)

1月25日(木)18時～豊里ふるさと会館(旧豊里小学校区)

1月29日(月)18時～東公民館(旧茂尻小学校区)

市理事者が出席し、これまでの経過や課題などを説明させていただきます。(市からの最初の説明は、3会場とも同じ内容になります。)その後、皆様からのご意見・ご質問を伺いながらの懇談となります。お住まいが旧小学校区外にある方も、ご自由にご参加いただけます。



建物の名称	建設年度	経過年数	床面積
校舎・渡り廊下	昭和53年	45年	1,579.51㎡
低学年校舎	昭和56年	42年	523.00㎡
体育館	昭和35年	63年	860.00㎡

床面積合計2,962.51㎡

解体費(取り壊す場合の費用)  
概算額 285,147,000円(設計費用含む)

建物の名称	建設年度	経過年数	床面積
校舎	昭和54年	44年	1,681.35㎡
体育館	昭和55年	43年	702.00㎡

床面積合計2,383.35㎡

解体費(取り壊す場合の費用)  
概算額 241,616,000円(設計費用含む)



豊里小学校

建物の名称	建設年度	経過年数	床面積
校舎	昭和55年	43年	2,617.55㎡
体育館・渡り廊下	昭和57年	41年	850.00㎡

床面積合計3,467.55㎡

解体費(取り壊す場合の費用)  
概算額 357,984,000円(設計費用含む)



赤間小学校

※「解体費概算額」は、令和4年度時点の概算に基づくおおむねの目安であり、物価高騰などにより変動する可能性があります。

■旧3小学校建物データについて  
活用を検討している建物は、令和3年度まで小学校として使用されており、いずれも耐震基準をクリアしています。暖房などの設備については、学校用の大規模なものであるため、改修を要する可能性があります。

※赤平市には旧3小学校のほかにも、現在使用されていない旧学校施設に「旧赤平幼稚園」、「旧住友赤平小学校」、「旧茂尻中学校」、「旧赤平中央中学校」があります。いずれも、使わなくなってからの年数が長く老朽化も著しく、再利用は困難となっています。

④旧3小学校を平岸コミュニティセンターと同様の施設として改修する場合にかかる費用の概算額

学校名	改修費用(概算額)
茂尻小学校	443,338,000円
豊里小学校	357,204,000円
赤間小学校	534,598,000円

※④は旧平岸小学校を改修した際の工事費を参考に、物価等の高騰を加味した令和4年度時点の概算であり、今後変動する可能性があります。

## ■平岸コミュニティセンター(旧平岸小学校)について

平岸コミュニティセンター(旧平岸小学校)は、閉校した学校を別な用途で使うこととした施設です。

旧3小学校を「平岸コミュニティセンター」のようにはしてほしいとご要望もあることから、参考事例としてご紹介します。

平岸コミュニティセンターは、平成26年3月をもって閉校した「平岸小学校」を改修し、会議室・体育館(室)、平岸連絡所高年齢者コミュニティセンター、平岸児童館(現在は廃止)、避難所機能などを兼ね備えた複合施設として、平成29年11月にオープンしました。現在まで使用されています。

### ①平岸コミセンの改修費用

改修設計費	8,748,000円
改修工事費	153,472,000円
合計	162,220,000円

※①は旧平岸小をコミュニティセンターへ改修した際、実際にかかった金額。

※②の歳入は全て使用料。歳入には人件費を含む。

### ②平岸コミセンの維持管理費用(決算額)

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳入(収入額)	57,806円	23,758円	21,632円	50,820円
歳出(支出額)	4,631,317円	5,427,682円	5,651,204円	5,550,224円

### ③平岸コミセンの今後の修繕計画(2051年までに見込まれるもの)

年	2026年	2036年	2041年	2046年	2051年	合計
主な修繕内容	機械設備部分改修	屋根全面改修	電気設備全面改修	建築全面改修	機械設備部分改修	227,466,000円
費用(千円)	4,000	10,567	49,127	119,172	44,600	

※③は令和4年度時点の概算であり、おおむねの目安です。

令和4年3月をもって閉校した3小学校(茂尻小学校、豊里小学校、赤間小学校)の活用が、大きな課題となっています。今は空き校舎の状態ですが、地域の方からは活用方法についていくつかのご要望をいただいているところです。(住民懇談会などで、茂尻小学校については民間への譲渡、豊里小学校については避難所としての活用を求める声が寄せられています。)

旧3小学校の活用方法については、これまで、市役所内部での「活用検討会議」での協議を進めてきました。また、市議会からは検討の進捗状況等を確認するご質問を度々いただいています。今月の「広報あかびら」では、来年1月の「3小学校活用に関わる地域懇談会開催前に、参考としていただいた情報をお伝えします。

小学校を異なる用途で活用するには改修費用がかかること、さらに、その施設を使い続けるには長期にわたる維持管理費がかかることも確認いただけたと思います。旧3小学校の活用が将来世代に過度な負担を求めるものとなってしまうのか、人口減少による影響も考慮しながら、慎重に見極めなければなりません。一方、地域住民が必要とする施設については、既存校舎の活用にとわらず、新たに建てることも含め、設置に向けた最善の方策を見出すべきであると考えます。

今回の地域懇談会で皆様からのご意見をいただき、引き続き「活用検討会議」での協議を進め、市議会にも報告させていただきながら、活用方法を早期に公表することを目指しています。

旧3小学校の活用方法検討に当たっては、実際に利用する市民(受益者市民)だけではなく、その改修費や将来に及ぶ維持管理費などを負担することになる市民(負担者市民)からも、広くご意見をいただきたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

問合せ 企画課 ☎32-1834